

2023年度の事業計画の概要

1 誰でもが地域に住み続けられるための条件整備に関する事業

① 地域まちづくりに関する相談・支援事業

これまでの当法人の活動の実績をもとに、追浜のまちづくりに関する相談等に対応する。「若布収穫祭」等のイベントを地元との連携のもとに継続、また新規に実施する活動も検討したい。

② 会報「あんず通信」の発行

追浜の地域活性化につながる編集企画を検討し、年2回の発行し多方面への配布を目指す。

2 地域資源の保存・活用に関する事業

① 第三海堡遺構の見学・ガイドツアー

見学者に対するガイド事業は個人・団体を問わず、引き続きおっぱまはっけん倶楽部の協力を得て実施する。

② 貝山地下壕の一般公開に関する事業

貝山地下壕一般公開によるガイドツアーが実施となる。ホームページで募集するガイドツアーを年間6回、モニターツアーとしての団体見学は申込に対応し随時受け付ける。

③ 追浜の自然や歴史遺産を活かすフィールドミュージアム構想の検討

フィールドミュージアム構想の第一歩となる「おっぱままるごと博物館」（追浜の知られざる7つの魅力ポイント）を、追浜地域運営協議会の事業としてデジタル化データとして活用できる形にする。

④ 各種冊子の発行・販売

『東京湾第三海堡物語』『追浜トンネル物語』『貝山地下壕 見学のしおり』の販売を行う。なお『貝山地下壕 見学のしおり』は500部増刷した。

3 まちづくりの人材育成に関する事業

① 各種団体との交流と人材育成の実施

追浜地域の各種団体と地域住民あるいは大学とをつなげる活動を行う。追浜地域以外、市域を越えたところでも共通する課題に取り組む団体と連携する。

2023年9月には「第26回戦争遺跡保存全国シンポジウム横須賀おっぱま大会」が開催される。当法人は戦争遺跡の保存・公開を事業に挙げており、地域連携や団体連携も使命としているところから、実行委員会に参加することとした。予算を伴う当法人の事業ではないが、重要な活動としてここに記載する。

② 情報発信手段の維持・充実

各種団体や地域住民と当法人をつなげ、活動を紹介する方法として、ホームページの維持維持管理、拡充に努める。